

授業科目	基礎看護学実習 I	単位数	1	時間数	45
担当講師 (実務経験)	専任教員（臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	1. 患者の療養生活について理解する。 2. 患者の安全・安楽・自立を考慮した援助計画が立案できる。 3. 受け持ち患者の日常生活の援助を、基本をふまえて実施する。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
	授業内容	授業方法	場所		
	1. 患者の入院目的、症状、治療上の制限を理解する 2. 患者の日常生活行動を観察し、ニーズの充足・未充足状態について考える 3. 患者の行動や態度、表情・言葉を観察する 4. 関係構築のためのコミュニケーションについて、分析・考察する 5. 日常生活援助を実施する 1) 患者の身体状態を知るための情報収集する 2) 安全・安楽・自立の視点で援助目標を立案する 3) 安全・安楽・自立に配慮し、援助計画を立案する 4) 援助計画に沿って援助を実施する 5) 患者の反応、援助の効果を振り返り、援助計画を修正する	病院実習 39 時間 実践活動外学習 6 時間	関西労災病院		
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	基礎看護学実習Ⅱ	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	1. 患者の基本的ニーズを理解する。 2. 患者のニーズ充足に必要な看護援助の方法を考えることができる。 3. 患者にとって最も適切な看護援助を実施する。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
授業内容		授業方法		場所	
1. 患者の疾患や治療を理解する 2. 患者の日常生活の変化を理解する 3. 患者の日常生活行動をアセスメントする 4. 患者を身体的・心理的・社会的側面から捉える 5. 患者の全体像から日常生活ニーズを明らかにする 6. 患者の日常生活ニーズに応じた援助目標を設定する 7. 安全・安楽・自立を考慮した援助計画を立案する 8. 援助計画に沿って、援助を実施する 9. 行った援助について、評価・修正を行う 10. 患者とのコミュニケーション場面をプロセスレコードを用いて振り返る 11. 体験を通して、患者 - 看護師関係の構築に必要な要素について自分の考えを述べる		病院実習 71 時間 実践活動外学習 19 時間		関西労災病院	
評価方法	実習終了後に実習評価表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	基礎看護学実習Ⅲ	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	1. 疾患や治療が患者に及ぼしている影響を理解する。 2. 看護過程を使用し、健康上の問題を解決するための看護問題を立案する。 3. 健康上の問題を解決するための看護を実践・評価する。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
	授業内容	授業方法	場所		
	1. 患者の身体的理解（疾病、機能障害の程度） 2. 共同問題の立案 3. 患者・家族の心理・社会的理解 4. 患者の解決能力と限界 5. 看護診断の活用 6. 看護計画の立案 7. 看護計画に基づいた看護援助の実施と評価 8. 自己の看護実践からの看護の気づきと考察	病院実習 84 時間 実践活動外学習 6 時間	関西労災病院		
評価方法	実習終了後に実習評価表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	地域・在宅看護論実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（当該領域での臨床実務経験有） 実習指導者（各実習場所の実務看護師）				
科目目標	1. 地域で暮らす人々とその家族を理解する。 2. 地域における多職種連携・協働や社会資源について理解する。 3. 地域で暮らす人々とその家族を支える看護を理解する。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
授業内容		授業方法		場所	
1. 地域包括支援センターの活動内容を見学する 2. 退院調整看護師に同行し、退院支援場面を見学する （退院支援カンファレンス、退院前合同カンファレンス） 3. MSWに同行し、転院調整場面を見学する 4. PFM場面の見学 5. 前方支援についての説明を受ける 6. 訪問看護師に同行し、在宅看護場面の見学をする 7. 訪問看護計画を立案する 8. 訪問看護師とともにケアを実践し評価する 9. ケアマネージャーに同行し、ケアマネジメントの実際を見学する		実習 15 時間 16 時間 45 時間 実践活動外学習 14 時間		地域包括支援センター 関西労災病院 医療連携総合センター 訪問看護ステーション	
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	老年看護学実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員 実習指導者 (各実習場所の看護師、介護福祉士等)				
科目目標	1. 高齢者の特徴と生活の多様性について理解する。 2. 施設で生活する高齢者の日常生活を整えるための援助を実施する。 3. 高齢者との関わりを通して、高齢者の特徴を生活に結び付けて理解することの必要性、高齢者の生活の多様性、また高齢者の特徴を尊重するための態度・姿勢について、実習での経験を振り返り考察する。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
	授業内容	授業方法	場所		
	1. 高齢者の身体的・心理的・社会的特徴についての理解 2. 高齢者の特徴が反映された生活の支援方法についての理解 3. 社会参加活動を行う高齢者の理解 4. 高齢者の生活の場として安全で快適に過ごせる環境についての理解 5. 高齢者の健康状態、生活状況、強みから看護の焦点を考える 6. 高齢者の強みを活かし安全で快適な日常生活を整えるための援助の実施および評価 7. 高齢者を尊重する態度についての理解	デイサービス 8 時間 特別養護老人ホーム 32 時間 訪問看護ステーション 24 時間 エプロンの会 5.75 時間 実践活動外学習 20.25 時間	通所介護施設 特別養護老人ホーム 訪問看護ステーション 関西労災病院		
評価方法	実習終了後に実習評価表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	小児看護学実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（当該領域での臨床実務経験有） 実習指導者（GCU/PICU 看護師 小児科外来看護師 保育士等）				
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの成長発達の特徴を身体的・精神的・社会的側面から理解し、関わりの中から成長発達段階に応じた援助のあり方について学ぶ。 2. 小児科外来の特徴と外来を利用する子どもと家族について理解し、外来における看護の役割について学ぶ。 3. 入院が子どもや家族に及ぼす影響を理解し、健康レベルや成長発達に応じた看護を実践・評価することができる。 4. 自己の子ども観を明らかにし、小児看護について考察する。 5. 専門職業人としての基本的態度を養う。 				
	授業内容	授業方法	場所		
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所における乳幼児の生活環境の理解 2. 乳幼児期の成長発達の特徴と支援についての理解 3. 保育所における子どもの発達を支援する養護についての理解 4. 子どもと家族に対する外来看護の役割についての理解 5. 健康障害が子どもと家族に与える影響についての理解 6. 健康増進や疾病予防に関わる外来の役割についての理解 7. 入院環境や状況が子どもの成長発達や家族に及ぼす影響についての理解 8. 子どもの人権を尊重し、成長発達を促す援助の実施 9. 保健医療福祉チームの中での小児看護の役割と継続看護の実際についての理解 10. 健康障害をもつ子どもと家族に対する看護計画の立案・実施・評価および修正 	保育所実習 14 時間 小児外来実習 8 時間 病棟実習 40 時間 実践活動外学習 28 時間	尼崎市立保育所 関西労災病院 小児科外来 あおぞら生協 クリニック 尼崎総合医療センター GCU/PICU		
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	母性看護学実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（当該領域での臨床実務経験有） 実習指導者（臨床助産師）				
科目目標	1. 妊婦・褥婦と新生児の身体的変化、心理・社会的変化を理解できる。 2. 褥婦と新生児および家族の健康維持・増進のための看護計画を立案し、実施・評価できる。 3. 褥婦と新生児の看護に必要な基本的援助が実施できる。 4. 母子と家族を支える保健活動および継続看護の必要性について考えられる。 5. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
	授業内容	授業方法	場所		
	1. 妊婦および胎児のヘルスアセスメント 2. 妊婦の身体計測 3. 褥婦と新生児のヘルスアセスメント 4. 褥婦と新生児の健康診査技法 5. 褥婦の全身回復・子宮復古促進のための援助 6. 褥婦が希望する授乳方法への援助 7. 愛着形成を促進するための援助 8. 新生児の日常生活援助 9. 母親役割促進のための看護についての考察 10. 母子を支える保健活動および継続看護	母子受け持ち実習 64 時間 妊婦健診実習 8 時間 実践活動外学習 (子育て世代包括支援 学習他) 18 時間	関西労災病院 産婦人科病棟 産婦人科外来		
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	精神看護学実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員 実習指導者（各実習場所の臨床看護師）				
科目目標	1. 疾病や治療が日常生活に及ぼす影響を知り、こころの健康課題や病を持つ人や家族を理解する。 2. 対象者のセルフケアの自立に向けた看護計画が立案できる。 3. 対象者のセルフケアの自立に向けた看護を実践・評価できる。 4. こころの健康課題や病を持つ人の地域生活に必要な支援が理解できる。 5. 実習体験をふまえて精神看護の役割について理解できる。 6. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
	授業内容	授業方法	場所		
	1. 疾患・治療と精神状態、心理的反応が日常生活に与える影響について 2. 患者の行動の理由と患者が抱える生きづらさ 3. 日常生活の自立の程度のアセスメント 4. 治療の場、生活の場としての環境のあり方と安全管理 5. 患者の強みを活かし、日常生活の自立に向けた援助 6. 精神に障がいを持ち、地域で生活すること 7. 地域生活を支える制度やサポート、看護の役割 8. 精神看護のあり方	病院実習 75 時間 実践活動外学習 15 時間	伊丹天神川病院		
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	周手術期看護実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（当該領域での臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	1. 疾病や手術療法が患者に及ぼす影響を理解する。 2. 手術療法を受ける患者の生命維持・苦痛緩和・回復の促進に向けた計画を立案する。 3. 手術療法を受ける患者の生命維持・苦痛緩和・回復の促進に向けた看護を実践・評価する。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
	授業内容	授業方法	場所		
	1. 実習オリエンテーション 2. 術前の情報から患者の手術に伴う潜在的リスクの Assessment と合併症予防の援助 3. 術後合併症の観察及び予防の援助 4. 患者の手術に伴う身体的・心理的・社会的状況の理解 5. 出現している症状・治療に伴う苦痛の緩和の援助 6. 立案した共同問題に基づいた術後合併症の観察と予防のための援助の実施および評価 7. 患者自らが獲得しなければいけない合併症を回避するための日常生活の方法や自己管理に向けた看護計画を立案、実施および評価	病院実習 76 時間 実践活動外学習 14 時間	関西労災病院		
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	慢性期看護実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	1. 慢性疾患や治療が患者に及ぼす影響を理解する。 2. 看護過程を使用し、健康上の問題を解決するための看護計画を立案する。 3. 健康上の問題を解決するためのセルフマネジメントへの支援を実施・評価する。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
授業内容		授業方法		場所	
1. 患者の理解（疾患のコントロールの程度、生活習慣、発達段階） 2. 疾病や症状に応じた患者の援助 3. 疾病のコントロールに向けた患者・家族の心理的援助 4. 疾病のコントロールに向けた患者・家族の生活の援助 5. 慢性疾患を持つ患者の不安や葛藤についての考察 6. 実施した指導・看護の評価 7. 自己の看護実践からの慢性期看護についての考察		病院実習 84 時間 実践活動外学習 (血糖測定演習他) 6 時間		関西労災病院	
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	終末期看護実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（当該領域での臨床実務経験有） 実習指導者（臨床看護師）				
科目目標	1. 治癒困難な状態にある患者の全人的苦痛を理解する。 2. 治癒困難な状態にある患者の苦痛を緩和し、QOL の維持・向上に向けた計画を立案する。 3. 治癒困難な状態にある患者の苦痛を緩和し、QOL の維持・向上に向けた看護を実施・評価する。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
授業内容		授業方法	場所		
1. 治療困難な状態にある患者を全人的（身体的・精神的・社会的・スピリチュアル的）に捉え、抱える苦痛を理解する。 2. 患者を全人的に捉えてアセスメントしたことから、共同問題・看護診断を活用し、苦痛・不快を緩和する援助方法を見出す。 3. 患者の苦痛の程度・体力の消耗を最小限にして、その人が希望する生活を整える援助を実践する。 4. 患者・家族の意思や希望を支える関わりについて、自らの援助を振り返りから考察する。		病院実習 72 時間 実践活動外学習 18 時間	関西労災病院		
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				

授業科目	統合実習	単位数	2	時間数	90
担当講師 (実務経験)	専任教員（臨床実務経験有） 実習指導者（看護師長 看護師長補佐 臨床看護師）				
科目目標	1. チームの一員として複数の患者を受け持ち、ケアの優先度を考え個別性に応じた援助を実践する。 2. 看護単位の看護管理の実際を知り、チームメンバーとしての責任を果たすための行動について理解する。 3. チーム医療の中で多職種との連携・調整の実際を知り、看護の役割と機能を理解する。 4. 専門職業人としての基本的態度を養う。				
	授業内容	授業方法	場所		
	1. 複数患者のケアの安全な実施 2. 多重課題に対する優先順位の決定と時間管理 3. 病棟単位での看護管理の実際 4. チームナーシングとメンバーとしての役割 5. 多職種との連携・協働 6. 看護チームの一員としての報告・連絡・相談	病院実習 76 時間 実践活動外学習 （紙面事例を用いた 複数患者のケアの優 先度判断の演習他） 14 時間	関西労災病院		
評価方法	実習終了後に実習評定表に基づき、実習内容および記録より評価する。				
評価基準	60 点以上で合格				